

10期連続増配予定

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして考え、連結業績に連動した配当とすることを基本方針としております。

この方針に基づき、これまで9期連続で増配を続けてまいりました。

2013年3月期の配当金についても、

1株当たり70円と、10期連続の増配を予定しております。

今後も、継続的な成長を実現するための投資や

財務体質の強化といった観点とのバランスを図りながら、

利益還元を進めてまいります。



株主優待制度

(権利確定日：年1回、3月31日)

「リロ・ホールディング株主優待Club Off」は、国内外の宿泊施設を割安な会員料金でご利用いただけるのをはじめ、レジャー施設や映画・観劇・飲食店の割引など、日常生活でもお楽しみいただける会員限定のお得なサービスです。

長期保有特典について

3年間継続保有いただいた株主様にはクラブオフ提携施設でご利用いただける1万円相当の宿泊補助券を3年毎に進呈いたします。

(利用可能施設、利用可能期間には制限があります。)

サービス内容

国内2,000ヶ所の宿泊施設をはじめ、アミューズメントパーク、スパなどのレジャー施設、暮らしに役立つライフサポートメニューまで、全国20,000店舗以上の優待対象施設をご利用いただけます。

会員スタイルについて

権利確定日の保有株数により、ご利用になれる会員スタイルが異なります。

VIP会員
300株以上

スタンダード会員
100株以上



第45期 事業報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

RELO

株式会社 リロ・ホールディング

世界規模で展開する生活総合支援サービス産業の創出



株式会社 リロ・ホールディング

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-23
Tel: (03)5312-8704 Fax: (03)3225-9714

<http://www.relo.jp/>

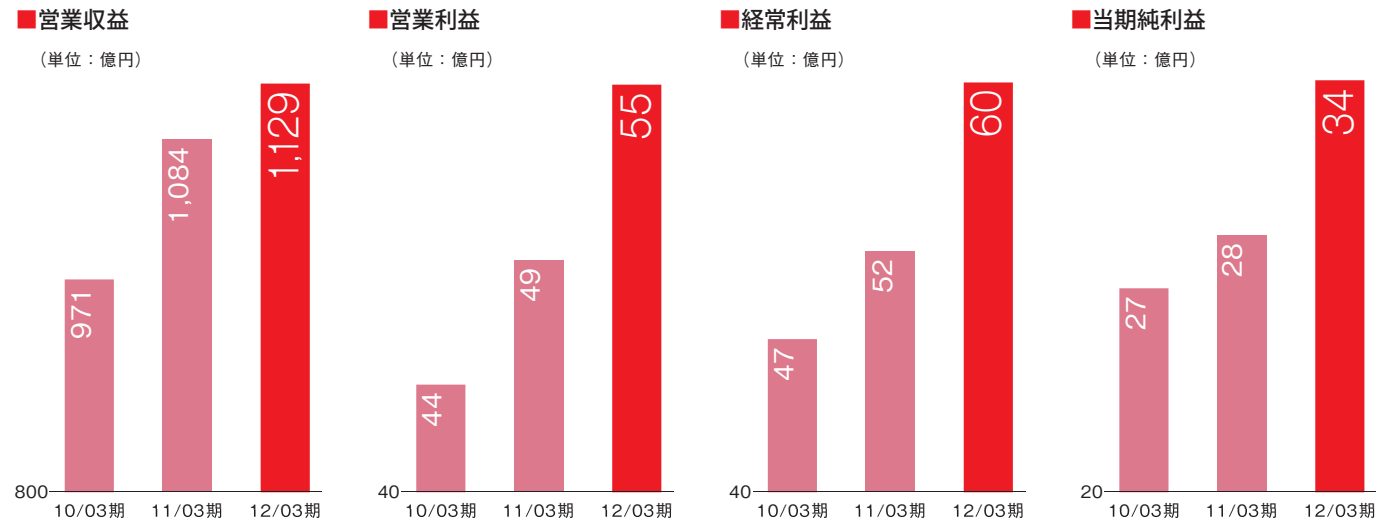


連結業績
ハイライト

12期連続増収 3期連続最高益更新

前期(2012年3月期)は、引き続き、企業福利厚生に関する業務効率化のニーズや日本企業の海外展開などが後押しとなり、国内リロケーション事業、海外リロケーション事業および福利厚生事業において主力事業であるアウトソーシングサービスが伸張しました。また、賃貸不動産の管理・仲介事業やホテル運営など関連事業が伸張したことも寄与した他、震災の影響が懸念されたリゾート事業も、5月以降は集客が徐々に持ち直し期初計画を大きく上回りました。

これらの結果、前期も増収増益となり、3期連続で過去最高益を更新しました。



営業収益
1,129億78百万円
前年同期比
4.2%UP↑

営業利益
55億84百万円
前年同期比
13.9%UP↑

経常利益
60億72百万円
前年同期比
16.0%UP↑

当期純利益
34億10百万円
前年同期比
18.3%UP↑

トップ
メッセージ取締役
越永堅士取締役
岩尾英志取締役会長
佐々田正徳代表取締役社長
中村謙一専務取締役
門田 康取締役
志水康治

株主・投資家の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

前期(2012年3月期)は、東日本大震災により発生した電力不足などの諸問題が日本経済に影響した他、タイの自然災害や欧州の経済不安など、世界的にも不安定な情勢が続きました。

このような逆風の中、当社グループの「第二の創業」がスタートいたしました。4カ年の中期経営計画「第一次オリンピック作戦」の初年度は、主力の福利厚生アウトソーシング事業において管理戸数や会員数といったストックを積み増した結果、二桁増益を達成し、過去最高益を更新いたしました。また、東証一部への上場も果たし、企業グループとして新たなステージを迎えるなど、着実な成長を遂げております。これもひとえに、皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後、日本企業の海外展開がさらに積極化するものと見込まれ、当社グループでは「第二の創業」ステージにおいて核となる使命を、「日本企業の海外展開を支援させて頂くこと」および、福利厚生制度など「国内においても本業以外の業務をサポートさせて頂くこと」と定義しております。そして、将来的には「福利厚生分野の問題解決ならり口」、「海外赴任、海外生活のことならり口」と言われる存在になるよう全力で取り組んでまいります。

そのために、まずは、国内の経営基盤を徹底的に強化すると共に、海外展開の基礎を築き、全社員が一丸となって中期経営計画の達成に突き進んでまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては、これまで以上にご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

中村 謙一

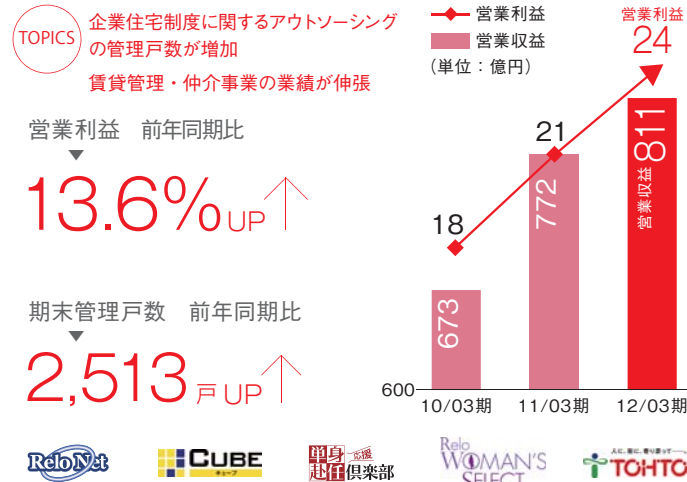
主力のアウトソーシング事業が続伸



国内リロケーション事業

寮や社宅などの住宅分野に関するアウトソーシングサービスを提供

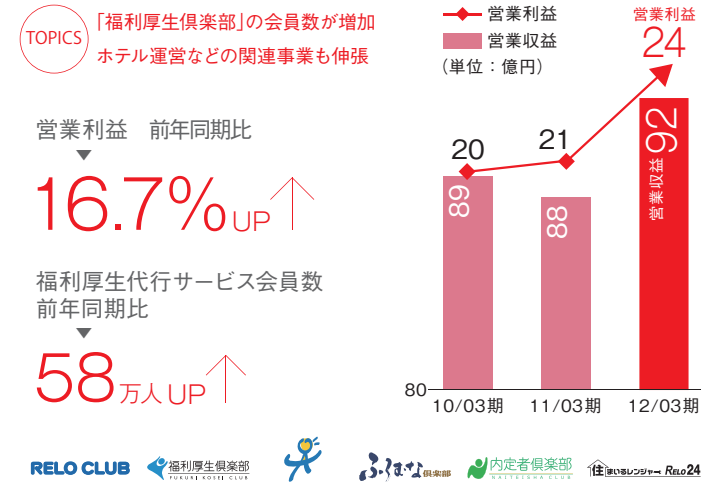
企業の住宅制度に関する負担を軽減し効率的に制度を運用するサービスとして、借上社宅管理業務のフルアウトソーシング「リライアンス」や物件検索等の転居支援サービス「リロネット」などを提供。また、企業の借上ニーズが高い地域において、賃貸不動産の管理や仲介事業なども手掛けており、企業の住宅に関する様々なニーズに応えるべく、総合的にサービスを提供。



福利厚生事業

企業福利厚生のレジャー・ライフサポート分野に関するアウトソーシングサービスを提供

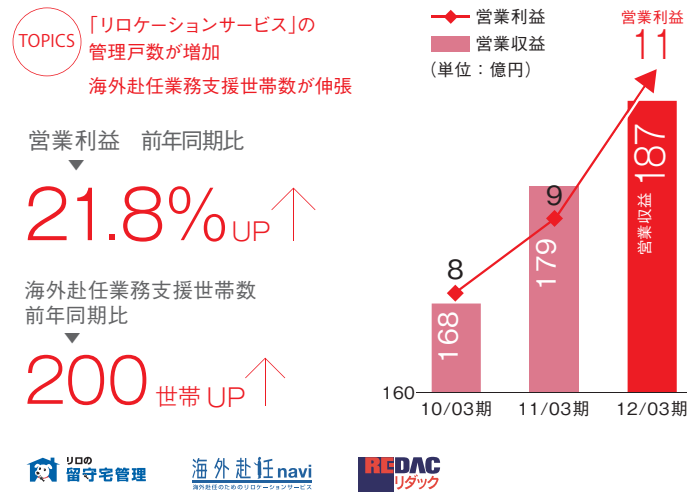
「福利厚生倶楽部」は、企業の業務負担やコストを軽減するとともに、様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生制度のアウトソーシングサービス。また、提携企業の会員組織に対して顧客特典を提供する「クラブオフアライアンス」の他、コンテンツの一部としてホテル運営や住まいの駆け付けサービスなどを手掛け、会員の生活を総合的にサポート。



海外リロケーション事業

海外赴任や転勤などにおいて企業と従業員をサポートするサービスを提供

当社グループの創業事業である「リロケーションサービス」は、転勤者の持家を管理するサービス。また、ビザの取得や海外引越の手配などを代行する「海外赴任業務支援サービス」の他、北米における赴任者向けサービスアパートメントの運営などを手掛け、赴任から帰任に至るまで、企業と転勤者を支援。



ポイントバケーション鴨川 4月にオープン!!

タワー高層階からは雄大な空と海を一望



水平線を見渡せる露天温泉風呂



オーシャンビューの広々とした客室

リゾート事業

多様なステイリゾートニーズに応えるべく、「使う分だけ別荘を所有する」をコンセプトとしたポイント制タイムシェアプログラムを提供



その他の事業

主力事業の基盤を活かし金融保険事業等を展開



リロ家賃サービス

中堅・中小企業の皆様に 充実した福利厚生を 提供したい。

株式会社リラックス・コミュニケーションズ
代表取締役社長
越永 堅士



当社グループの主力事業の1つである「福利厚生倶楽部」を立ち上げた当時、大手企業と中堅・中小企業の間には福利厚生の大きな格差がありました。「大手企業と中堅・中小企業の福利厚生の格差を埋める」という使命のもと、「従業員が100名の会社でも100社が集まれば1万人規模になり、大手企業並みの福利厚生を提供できる」と、日本で初めて福利厚生のアウトソーシングサービスを事業化しました。

現在では、保養所やスポーツクラブといったレジャー分野のメニューに加え、介護・育児・メンタルヘルスなど、約2万の豊富なメニューを取り揃えています。これらのメニューを掲載しているガイドブックは、現在700ページを超えていますが、設立当初は、わずか32ページにすぎませんでした。会員の皆様からのご要望やご意見をもとに、メニュー

を地道に作り上げてきた結果、様々なニーズに対応できる幅広いメニュー構成になりました。

「意志あれば道あり」という言葉のとおり、ビジネスにおいては、一度決めたことを愚直に続けることが最も大切な要素だと考えています。私自身も営業担当として活動しておりましたが、9年間で延べ3万社以上を訪れ、提案を続けました。今後も、これまで以上に会員の皆様に喜んでいただけるようサービス内容を充実させると共に、より多くの企業様でご利用いただけるよう、引き続き、営業活動にも注力してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社リラックス・コミュニケーションズ
事業内容：福利厚生代行サービス事業、会員向け各種優待・特典代行サービス事業 等
URL：http://www.reloclub.jp/

新任社長のご紹介

株式会社リロエステート 代表取締役社長
加藤 伸之

「企業は人なり」と言われるように、人材は企業におけるもっとも重要な経営資源です。

従業員が生き生きと活躍するためには、安定した生活が不可欠であり、中でも“住まい”はその中心的な役割を果たします。つまり、最適で快適な住居を確保することが、企業で働く人の活力を左右すると言えます。

私共は、企業の寮や社宅の仲介事業に加えて、家族と離れて仕事に打ち込む単身赴任者の皆様に支援するため、食事付物件を提供する「単身赴任応援倶楽部」などを展開し、企業とその従業員の皆様にサポートしております。

今後も、寮や社宅など“住まい”を通じて、企業とその従業員の皆様のお役に立てるよう邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社リロエステート
事業内容：社宅・寮の売買・賃貸仲介事業など
URL：http://www.reloestate.jp/

株式会社ワールドリゾートオペレーション 代表取締役社長
田村 佳克



箱根などでホテル運営事業を行う私共にとって、2012年3月期は、震災の影響により厳しいスタートとなりましたが、スタッフ全員が一丸となって知恵を絞ってお客様の満足度を高めるよう取り組んだ結果、多くの方々にご来館いただき、私共のサービスにご満足いただくことができました。

引き続きサービスの向上に努めることに加えて、より多くのお客様に「大切な方とのかけがえのない時間」を過ごしていただけるよう、魅力あるリゾートステイのご提案やイベントの企画などにも取り組んでまいります。

箱根や城崎へご旅行の際には、ぜひお立ち寄りいただければとスタッフ一同楽しみにお待ちしております。今後ともご支援のほどよろしく願い申し上げます。

株式会社ワールドリゾートオペレーション
事業内容：ホテル運営
URL：http://www.merveille-hakone.jp/
http://www.reyzenit-kinosaki.jp/

連結貸借対照表 (単位：百万円)

	当期 2012年3月期末	前期 2011年3月期末
資産の部		
流動資産合計	20,443	18,756
固定資産合計	24,382	24,506
有形固定資産合計	3,612	3,819
無形固定資産合計	3,319	3,278
投資その他の資産合計	17,450	17,408
① 資産合計	44,826	43,263
負債・純資産の部		
流動負債合計	16,619	15,710
固定負債合計	7,871	9,082
② 負債合計	24,490	24,793
株主資本合計	20,444	18,681
その他の包括利益累計額合計	▲ 236	▲ 321
新株予約権	85	71
少数株主持分	41	38
③ 純資産合計	20,335	18,469
負債純資産合計	44,826	43,263

連結損益計算書 (単位：百万円)

	当期 2012年3月期	前期 2011年3月期
④ 営業収益	112,978	108,410
国内リロケーション事業	81,192	77,212
海外リロケーション事業	18,730	17,915
福利厚生事業	9,277	8,847
リゾート事業	2,418	2,540
その他	1,359	1,894
営業費用	98,612	94,584
営業総利益	14,365	13,825
販売費及び一般管理費合計	8,780	8,922
営業利益	5,584	4,902
営業外収益合計	659	580
営業外費用合計	172	247
⑤ 経常利益	6,072	5,235
特別利益合計	17	61
特別損失合計	59	362
税金等調整前当期純利益	6,030	4,934
法人税、住民税及び事業税	2,431	1,572
法人税等調整額	185	478
少数株主利益又は少数株主損失(▲)	3	1
当期純利益	3,410	2,882

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	当期 2012年3月期	前期 2011年3月期
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,857	1,735
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 583	▲ 767
⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,940	▲ 844
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	▲ 14
現金及び現金同等物の増加額	1,373	108
現金及び現金同等物の期首残高	3,328	3,219
現金及び現金同等物の期末残高	4,701	3,328

連結財務諸表のポイント

① 資産

有形固定資産やのれんの減価償却が進んだことなどから、固定資産合計が減少し243億82百万円となった一方で、営業活動によるキャッシュ・フローが増加したことなどから、流動資産合計が204億43百万円と増加しました。これらの結果、資産合計は、448億26百万円となりました。

② 負債

借入金の返済により有利子負債が減少し、負債合計は、244億90百万円となりました。また、自己資本比率は45.1%と2.7ポイント改善しました。

③ 純資産

当期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、従業員のモチベーションを向上すべくESOP(従業員持株会支援信託)を導入したことにより自己株式が増加したことなどから、純資産は203億35百万円となりました。

④ 営業収益

国内リロケーション事業、海外リロケーション事業および福利厚生事業において主力事業であるアウトソーシングサービスが伸張したことなどから、連結営業収益は1,129億78百万円(前年同期比+4.2%)となりました。

⑤ 経常利益

主力事業に加えて、関連事業が伸張するなど、収益性が向上したことなどから連結経常利益は60億72百万円(前年同期比+16.0%)と3期連続で過去最高益を更新いたしました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度期間において営業活動の結果得られた資金は、58億57百万円(前年同期比41億22百万円増)となりました。税金等調整前当期純利益60億30百万円を計上した一方で、法人税等14億63百万円を支出したことなどが主な要因であります。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度期間において投資活動の結果使用した資金は、5億83百万円(同1億84百万円減)となりました。有形固定資産の取得により1億33百万円、ソフトウェアの取得により4億69百万円を支出したことなどが主な要因であります。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度期間において財務活動の結果使用した資金は、39億40百万円(同30億96百万円増)となりました。自己株式の取得により10億53百万円、長期借入金の返済に18億90百万円、配当金として9億9百万円を支出したことなどが主な要因であります。

会社概要

会社名	株式会社リロ・ホールディング
設立	1967年3月
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿四丁目3番23号
資本金	2,663百万円
発行済株式総数	15,290,520株

役員一覧

取締役会長	佐々田 正徳
代表取締役社長	中村 謙一
専務取締役	門田 康
取締役	岩尾 英志
取締役	越永 堅士
取締役	志水 康治
執行役員	小山 克彦
執行役員	七原 肇
監査役	安岡 律夫
監査役	大野木 孝之
監査役	宇田川 和也

グループ企業一覧

株式会社リロ・ホールディング

持株会社としてグループ企業の株式を保有

●国内リロケーション事業

株式会社リロケーション・ジャパン

寮・社宅業務をフルサポート

株式会社リロエステート

独身寮・社宅の総合仲介

株式会社東都

小田急・京王沿線No.1総合不動産サービス

●海外リロケーション事業

株式会社リロケーション・インターナショナル

赴任業務の総合アウトソーシング

REDAC, Inc.

北米における総合不動産サービス

利楼可信(上海)企業管理諮詢有限公司

中国における赴任業務支援

●マンション管理事業

日本ハウズイング株式会社

(持分法適用関連会社)

国内最大規模のマンション管理サービス

●福利厚生事業

株式会社リラックス・コミュニケーションズ

福利厚生・顧客優待の総合アウトソーシング

シニア向けライフサポート

株式会社リロクリエイト

入居者のトラブルに24時間体制で対応

株式会社ワールドリゾートオペレーション

リゾート施設の運営

株式会社福利厚生倶楽部九州

(麻生グループとの合併会社)

九州地域における福利厚生アウトソーシング

株式会社福利厚生倶楽部中部

(名古屋鉄道株式会社との合併会社)

中部地域における福利厚生アウトソーシング

株式会社福利厚生倶楽部中国

(中国電力株式会社との合併会社)

中国・四国地域における福利厚生アウトソーシング

台湾利樂福利厚生股份有限公司

(中国信託商業銀行グループとの合併会社)

台湾における福利厚生アウトソーシング

●リゾート事業

株式会社リロパッケージング

ポイント制リゾートオーナーシステム

●金融・保険事業

株式会社リロ・フィナンシャル・ソリューションズ

リスクマネジメント及び保険に関するコンサルティング

Relo Global Reinsurance, Inc.

再保険によるリスクマネジメント

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
配当金支払基準日	毎年3月31日
	その他必要があるときは、予め公告して 定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-176-417
ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/ index.html
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東証一部(証券コード 8876)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。